

建築設備技術遺産に5件

建築設備技術者協会(JABMEE)、田辺新一会長は、建築設備の技術、役割、文化を多くの人たちに知ってもらうことを目的に創設した「建築設備技術遺産」の16年度認定遺産を決めた。認定委員会(委員長・鎌田元康東大名督教授)が「TOTOMIミュージアム所蔵の初代ユニットバス」など5件を建築設備技術遺産に選定したほか、建築環境に多大な影響を与えた道産を対象とする「特別認定」に「柿生ソーラーハウス」を選んだ。認定式は6月21日に東京都港区の明治記念館で開く総会の終了後に行われる。

建築設備技術遺産に認定されたのは▽設備普及の一助を担った住宅衛生解説書類▽東京五輪に向け短工期施工の実現のためのホテル建設でのネットワークを解消し、その後の集合住宅で標準的工法として定着した初代のユニットバス▽

△浴室での不完全燃焼による中毒事故の多発を防止し、シャワー浴普及の引き金となったハンドシャワー付BF型ガス風呂釜を含む給湯器の進化を示す一連の機器▽1961年〜2007年に運転され、改良が加えられた上でシリーズ化されシェア90%を占めるようになったターボ冷凍機の量産原型機▽日本の空調設備の黎明期に、熱回収システムをパッケージ化した機器として開発され、多くのプロジェクトで採用されたヒートポンプシステム▽の5件。

特別認定は、78年竣工の自邸(須田礼二氏)に屋根の一部に太陽熱集熱器を組み込み、現在も健全に使用されているソーラーハウスが選ばれた。建築設備技術遺産は、空調・衛生・電気・搬送の4領域に関する技術と技術者の歴史的な足跡を示す「事物」「資

JABMEE 6月21日認定式

料」が認定対象で、今回が5回目の認定。今回認定された建築設備技術遺産5件、特別認定1件とそれぞれの管理者は次の通り(敬称略)。

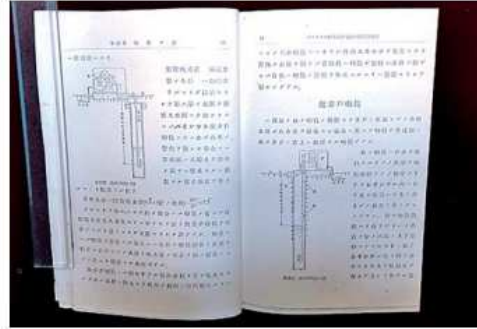
【建築設備技術遺産】
 ▼「衛生装置を設ける方へ(住宅衛生工事解説)」▽パイロット組立式住宅衛生装置説明書「パイロット式濾水装置説明書」▽いするの家・西原脩三記念館
 ▼国産ターボ冷凍機の量産型

となった遠心冷凍機▽東芝キャリア掛川開発センター
 ▼TOTOMIミュージアム所蔵の初代ユニットバスルーム▽TOTOミュージアム
 ▼全電力可逆型熱回収式空気熱源ヒートポンプシステム(T礼二)

ACNES HR 竹中工務店
 ▼給湯機の進化を示す一連の機器群展示▽ガスミュージアム
 【特別認定】
 ▼柿生ソーラーハウス▽須田



「国産ターボ冷凍機」(東芝キャリア)



パイロット組立式住宅衛生装置説明書



柿生ソーラーハウスの集熱部



TOTOミュージアム所蔵の初代ユニットバスルーム



「給湯機の進化を示す一連の機器群展示」からバランス型ガス風呂釜BF-S

建築設備技術遺産に計6件



TOTOの初代ユニットバスルーム (解体前)

J A B M E E

建築設備技術者協会(JABMEE、田辺新一会長)は、建築設備の技術、役割、文化を次世代に伝える建築設備技術遺産を認定した。5回目となる今回は衛生関係が4件、空調領域2件の計6件だった。このうち特別認定として、1978年竣工の自邸の屋根に太陽熱集熱器を組み込み、現在も継続して使用するソーラーハウス「柿生ソーラーハウス」が選ばれた。

認定式は6月21日の総会後に実施する。

認定を受けた業績名と管理者は次のとおり(敬称略)。

▽衛生装置を設ける方へ(住宅衛生工事)、パイロット組立式住宅衛生装置説明書、パイロット式濾水装置説明書(いずれの家 西原脩三記念館▽国産ターボ冷凍機の量産原型となった遠心冷凍機(東芝キヤリア掛川開発センター▽TOTOミュージアム所蔵の初代ユニットバスルーム▽TOTOミュージアム▽全電力可逆型熱回収式空気熱源ヒートポンプシステム(竹中工務店▽給湯器の進化を示す一連の機器群展示(ガスミュージアム▽柿生ソーラーハウス

須田礼二

J A B M E E

建築設備技術者協会

(J A B M E E、田辺新一会長)は、2016年

度建築設備技術遺産として西原が所有する資料

「衛生装置を設ける方へ(住宅衛生工事解説)」

やTOTOMIコミュニティ

所有の「初代ユニットバスルーム」など6件を認定。19日に発表した。

建築設備部門の技術や設備関連情報などを次世代に伝えるため、12年度

に創設した制度。認定物

件はこれまでの23件と合わせて29件となった。

認定物件の概要は次の通り(①所有者②管理者③講評)。

▽認定第23号・「衛生

装置を設ける方へ(住宅衛生工事解説)」

比較と技術解説で平易に解説した

▽認定第24号・国産ターボ冷凍機の量産原型と

なった遠心冷凍機

①コミュニティ所蔵の初

代ユニットバスルーム

②TOTOMIコミュニティ

③東京オリンピック開催に向けたホテルニューオータニ建設の浴室工事

「設備技術遺産」を認定

芝キヤリア②東芝キヤリア掛川開発センター③高

性能化・小型化・制御性の向上で100RT以下の

式濾水装置説明書

西原②いするの家西原脩三記念館③衛生設備の普

で短工期を実現し、集合住宅のユニットバス量産

の原動力となった。浴室の内側から部材を外す

こともできる高いメンテナンス性などを評価

▽認定第25号・TOT

可逆型熱回収式空気熱源

①②竹中工務店③熱回収式と空気熱源ヒートポン

プの機能を組み合わせる

パッケージ化し、ビルの省エネに貢献した

の進化を示す一連の機器

群展示①東京ガス②ガ

スミューシウム③風呂釜

機能付き壁貫通型給湯器の開発など、ガス給湯器の進化の歴史を実物でたどることができる

▽認定第27号・給湯機

▽特別認定・柿生ソーラーハウス

①②須田礼二(自邸)③屋根と一体型の太陽熱集熱機。竣工後37年間健全に稼働中

認定物件を説明する鎌田元康東京大学名誉教授

働中



認定物件を説明する鎌田元康東京大学名誉教授